

## 道徳学習指導案

授業者 T1 津田 真由美  
T2 田中 順貴

1. 日時 平成 28 年 7 月 7 日(木) 第 6 校時
2. 場所 1 年 A 組 (男子 8 名 女子 10 名 計 18 名)
3. 資料名 「銀色のシャープペンシル」(中学校「希望へのかけはし」 和歌山県教育委員会より)
4. 主題 内容項目 A(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
5. 主題設定の理由

### (1)生徒について

学級全体の雰囲気は明るく活発で、授業や行事にも前向きである。また積極的に発表できる生徒が多く、班での話し合い活動なども意欲的に取り組める。しかし中には、相手を思いやれない発言や行動、また相手の意見を聞き入れられない姿が見られる。それらの言動は、自分自身や友達をどのような気持ちにさせるかというところまで深く考えられずに行われる。今から発する自分の言葉や行動が、自分や相手にとって善いものかそうではないかの判断できるとともに、もし自分自身に誤りがあれば、そのことに素直に責任をとれるようにしていきたい。

### (2)指導観

中学生は、自主的に物事を考え、判断し、行動できる力が身についてくる時期である。そのため、自分の言動や行動には責任を持たなければいけなくなる。しかし相手や周りの気持ちを考えずに自分の思いのままに発言や行動をしたり、それを指摘されても素直に受け入れられなかったり、自分のこととして受け入れられない時もある。自分の何がいけなかったのかと言うことに早く気づき、それを素直に受け止められるようにしなければならない。また、いけないことが起こる前にそうならないように、考え行動しようとする意識を育てたい。

### (3)資料について

本資料は、主人公が友人の卓也が落としたシャープペンシルを自分の物として使用し、拾ったと素直に言えず、返すタイミングを見つけられずに誰もいない教室で卓也のロッカーに黙って入れてしまう。しかし、卓也から自分の正直な思いを伝えられたことにより、主人公は心を動かされ、卓也のシャープペンシルを黙って自分の物にしてしまったという卑怯な行いと、それを素直に言えなかった自分自身を省みる。

## 6. UD の視点

本来読み物資料であるが、授業者が演技をすることで、読み終わるまで集中力がもたない生徒や、文字では場面がイメージしにくい生徒にもねらいや活動の目的がわかりやすく、参加しやすくなる。そして班活動を取り入れることによって、学級全体で理解しようとする雰囲気が作れる。

7. 本時のねらい

自分自身の言動や行動に責任をもち、誠実な行動をとれる力を育てる。また、自分の誤りに対して素直に謝れる心を育てる。

8. 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>演技を見て、おかしいと思う点を挙げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4つのそれぞれの場面で、おかしいと思う点を書いてみよう。</li> <li>・落ちていたものを勝手に自分のものにしてはいけない。</li> <li>・拾ったシャーペンを自分で買ったと嘘をついた。</li> <li>・ゴメンも言わず、黙ってロッカーに入れたのはずるい。</li> <li>・親友は何も悪くないのに謝って、シャーペンを盗った主人公が謝らないのはおかしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問と場面の内容を、黒板に掲示する。</li> <li>・1場面ずつ、気づいたことを書かせる。</li> </ul>
展開 32分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の気持ちをとらえる。</li> <li>・主人公のこの後の取るべき行動について考える。</li> <li>・班で発表する。</li> <li>・発表を見て、感じたり思ったりしたことを書く。</li> <li>・意見を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親友からの電話をすぐに切った主人公の気持ちは、どうだろうか。</li> <li>・</li> <li>◎主人公はこのあとどんな行動をとるか考えてみよう。</li> <li>・親友の家に行って、本当のことを話し謝る。</li> <li>・今度は自分から電話をかけて、本当のことを話して謝る。</li> <li>・各班で自分たちの考えを説明し、演技にして発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問を黒板に掲示する。</li> <li>・自分たちの考えをしっかりと説明できるようにする。</li> <li>・各班の考えをホワイトボードに書き、掲示する。</li> </ul>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、気づいたことや感じたことを書く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を十分にとり、書かせる。</li> <li>・自分自身におきかえて書けるようにする。</li> </ul>

問1 それぞれの場面で、主人公の行動についておかしいなと思う点を書いてみよう。

シーン1	シーン2
シーン3	シーン4

問2 ( )の気持ちは、どうだろうか。

--

問3 各班の発表を見て、感じたり思ったことを書いてみよう。

1班	2班
3班	4班

\_\_\_\_\_ 班

メンバー \_\_\_\_\_

・考え



・まとめ



